

スイセン



建設情報誌

# C-net 通信

Construction

Vol. 300

さが

『C-net通信』で

2016年4月13日

発行所: (株) NSC

<http://www.nsci.co.jp>

■会員料金■

## 平成28年度研究成果発表会

「ミラクルソル」製造能力アップ

# 環境負荷低減工法を提案

## 日本建設技術(株)グループ

日本建設技術(株) (原裕社長、本社:唐津市北波多) グループの平成28年度(第13回)研究成果発表会が9日、唐津シーサイドホテルで開催された。来賓やグループ企業の社員ら約170人が出席。同社の平成27年度の活動実績と発泡廃ガラス「ミラクルソル」の生産能力アップなどの報告が行われた。併せて成績優秀社員と資格取得者の表彰や新入社員の紹介の後、来賓との懇親会などで新年度に向け気持ちを新たにした。



挨拶する原社長



会場のような様子

毎年4月のこの時期に開催しており、原社長が冒頭、「1995年からガラス廃材を再資源化した材料、そして、それを用いての環境負荷低減ができる工法の提案を、いろんな所に行ってきた。また、建設関連業界だけでなく、水産業や電気メーカー、建設資材生産企業などとのコラボで、ミラクルソルを使ってもらってきている。これからは研究開発型の会社として、時代のニーズを的確に感じ取りながら、競争力と経営力を高めながら新たな挑戦をやっていききたい。」と挨拶した。

研究成果発表では、まず原社長(工学博士)が『2015年度のあゆみと東京オリンピックに向けて』の演題で講演。地球温暖化のなか開催される4年後の夏の東京オリンピックに向けて、ミラクルソルを使った環境省への環境土木工法の「FWG・透水性舗装工法」(皇居外苑駐車場)と水環境工法の「水質浄化工法」(羽田空港国内線、花の楽園の池)などへの提案状況を報告。また、社内の決済システムを省力化する稟議ワークフローシステムの開発・運用、業務提携による群馬県高崎市の工場でのミラクルソル製造開始、韓国でのミラクルソル製造の特許取得などの実績を報告した。

次いで、同社技術研究所の松尾保成副所長(工学博士)が『ミラクルソル材量生産工場における生産アップとコストダウン』の演題で発表。製品の価格競争力アップに向け



成績優秀者らの表彰

取り組んできた製造工場での生産効率の向上の成果を報告。炭酸カルシウムなどの発泡剤の量や焼成温度、ガラス廃材粒材のベルトへの敷厚や焼成時間などの製造実験で、1日の生産量34%アップを、品質的にも安定的に達成した。

この後、日本建設技術(株)、(株)精工コンサルタント、(有)大和地研の資格取得者と工事監理等の成績優秀者を表彰。中途採用者を含めた新入社員の紹介も行われた。

第2部の懇親会では、社員や来賓の国会議員や県市会議員など約160人が出席。同社の田中慎一郎常務の挨拶の後、和やかに懇談した。  
【4月11日HPP掲載】